

早期胃癌の治療は内視鏡的粘膜切除術(EMR)や鏡視下手術の普及で多様化し、この変化に則した診断学の確立が望まれている。すなわち、正確な(あるいはより精密な)深達度診断、リンパ節転移の診断、EMR後の遺残再発や同時・異時性多発胃癌の診断、そして診断の原点であるスクリーニング法である。今日検診で広く用いられるようになったペプシノーゲン法の有用性が八巻の論文で初めて明らかにされたと思われる。EMRの術前診断はほぼ満足するべきもので、EUSの絶対的必要性は認めないという結論も新鮮であった。国立がんセンターより多数例のm癌、sm癌のリン

パ節転移率の報告と西上論文でのリンパ節転移陽性sm癌の特徴は今後の治療法の選択において参考になる。リンパ節転移については慶應外科よりradio-guided sentinel node navigation surgeryの成績が報告されている。今日学会でもホットな討論が行われているEMR後の再発と多発胃癌についての報告も併せ、表題の「早期胃癌診断の実態と問題点」のほぼすべてが明らかになったものとする。本号が日常臨床の指針となるとともに、今後の診断学向上の一里塚になることを希っている。

胃と腸

1月号(第37巻・第1号)予告

発売予定 1月25日
定価(本体2,300円+税)

主題/食道 m3・sm1 癌の診断と遠隔成績

序説	m3・sm1 食道癌の問題点と展望	都立駒込病院・外科	吉田 操
主題	食道 m3・sm1 臨床病理	大阪府立成人病センター・病理	真能 正幸・他
	食道 m3・sm1 癌の質的・量的 X 線診断	都がん検診センター・消化器科	八巻 悟郎・他
	食道 m3・sm1 癌の質的・量的内視鏡診断	都立駒込病院・内科	門馬久美子・他
	食道 m3・sm1 癌の質的・量的 EUS 診断	恵佑会札幌病院・内科	清水 勇一・他
	食道 m3・sm1 癌の治療成績—EMR と手術の長期予後	東海大・外科	幕内 博康・他
主題研究	食道 m3・sm1 癌の病態—分子生物学的特徴	鹿児島大・第1外科	中野 静雄・他
主題症例	食道癌 m3(ly-)症例でのリンパ節転移陽性、さらに根治切除術後に遠隔転移を認めた1例	癌研究会附属病院・外科	黒田 純子・他
	術後6年で頸部リンパ節再発した m3 食道表在癌の1例	兵庫医科大学・第2外科	藤原 由規・他
	EMR後に頸部上縦隔リンパ節再発、肺転移を来した sm1 食道癌の1例	東海大・外科	島田 英雄・他

胃と腸 (第36巻 第13号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2001年12月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)(配送料116円)

2001年年々ぎめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)渡辺・阿野・永安・小松原